

ろう者と聴者が 協働する人形劇団 ラオス×日本

～共同ワークショップ発表公演～



デフ・パペットシアター・ひとみ (日本)



劇団カオニャオ (ラオス)

世界的にも貴重な2劇団が
モノと身体による
新しい表現の可能性をさぐりました

内容

- お話：共同ワークショップの報告
- 上演：成果発表
- 質疑応答

2021年9月18日(土) 13:30 (開場 13:00)

川崎市国際交流センターホール

東急東横線・東急目黒線 元住吉駅西口徒歩 10～12分

入場無料

(事前申込み制)

■お申込みとお問合せ

(公財)現代人形劇センター tel.044-777-2228 /fax777-3570

e-mail ticket@puppet.or.jp /URL www.puppet.or.jp



■主催：(公財)現代人形劇センター

■共催：川崎市

■助成：国際交流基金/NHK 歳末たすけあい配分金事業

■後援：川崎市教育委員会 / (公財)川崎市国際交流協会 / (公財)川崎市文化財団 / (公財)かわさき市民活動センター

ろう者と聴者がともにつくる2劇団、共同ワークショップのこと

ラオスと日本の2劇団は、世界的にも数少ない、ろう者が参加する人形劇団です。

2019年から、各自の拠点を行き来して、交互に共同ワークショップを続けてきました。

今回はその4回目で、9月6日から12日間にわたって実施します。そして新型コロナの感染拡大を受けて、初めてのリモート形式での共同作業でもあります。発表公演ではその成果をご覧ください。

※発表公演も、ラオスの劇団カオニャオはリモート形式で、映像を通じての参加となります。

■劇団カオニャオ (ラオス)■

ラオス国立人形劇場から若手が独立して結成され、2010年ラオスで初めて政府により認可された民間劇団。ラオスの精神世界を豊かな自然を生かして描く、独創的な作品が世界的に評価され、アジアやヨーロッパの劇団との国際共同製作を数多く行っています。2016年「カオニャオ・デフ」を劇団内に創設。ろう者の参加による、新しい人形表現を模索しています。



2020年1月ラオスでのワークショップ

■デフ・パペットシアター・ひとみ (日本)■

1980年現代人形劇センター内に結成。以来、ろう者と聴者が協働し、ろう者の豊かな感性を生かした新しい人形劇をめざして活動。音声言語に頼らない、遣い手の身体を駆使した視覚的表現と、体感して楽しめる音作りを特色としています。世界でも珍しい職業劇団として現在まで公演数は日本全国約650地域3000ステージを超え、また多くの海外公演を行っています。



同発表公演 (ラオス国立人形劇場にて)

★ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

【会場アクセス】

川崎市国際交流センター

会場：川崎市国際交流センター
〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町 2-2
TEL. 044-435-7000

会場アクセス
東急東横線・東急目黒線
「元住吉駅」西口下車徒歩 10分～12分

★感染防止対策について→ 会場の消毒、換気 / スタッフのマスク着用 / 舞台と客席の距離を2m以上に設定 / 来場者の手指の消毒、検温(37.5度以上の方の入場はお断わりさせていただきます) / 席数は客席数の半数以下に